

2018 年度 環境活動レポート

(対象期間: 2018 年3月1日～ 2019 年2月28日)



作成日: 2019年2月28日
更新日: 2019年5月15日



入社歓迎会の風景



社員旅行の風景



社員旅行の風景

口ごあいさつ

当社は、2009年6月から大阪シティホテル京橋の経営のスタートを致しました。
 2011年6月はホテルプラザイン徳島とホテルグラッドワン南大阪の経営を同月スタート。
 2012年5月には北九州第一ホテルの経営をスタートし、4店舗チェーン展開となる中でEA21の取得を試み始めました。
 ホテルという業態は、水道・電気・ガス・重油といったライフラインの大口需要者となる事から「企業の社会的責任」である省エネ・省資源・エコ活動への取組が必須となりますが、その事でお客様へのサービス低下を起こしかねない事案もございますのでお客様のご理解ご協力を賜りながら進めて参りたいと考えています。
 また、全店全スタッフとの指標や水光熱費等のコストダウンとその方法や意識についてのさらなる芽生えも期待。
 2013年から着手した再生可能自然エネルギーによる太陽光発電システムでの創エネルギーは、全国に7事業所を数えまして合計470.68KWの設備を保持する事で約236tものCO2削減効果に貢献できて、約16,800本のスギの木のCO2吸収量に相当します。
 日本の農業を守り持続可能な未来の為に取組ませて頂いている水田も8年目を迎え作付面積を31.1アール(3,110kgのCO2削減効果)を維持。
 当社が全事業で消費した電力量の約33%を太陽光発電事業の再生可能エネルギーでカーボンオフセットしています。

当社は、おかげ様をもちまして2019年5月で創業10周年を迎える事ができました。
 8年目のエコアクション21認証継続する上で、これまでの取組を全社に共有することと共に、弊社社員様方には弊社が本業とプラスアルファで取り組む様々な活動を体感体験して頂くことで、自社に対する誇りを感じて頂き働きがいと経済成長を同時に達成していきたいと願っています。
 そして今一度、全スタッフの「エコ」に関する知識意識を高めて、人的ソフトの力を発揮して環境経営やSDGsへの貢献にも取り組んで参ります。

環境経営方針

<環境経営理念>

社内に込めた思い、グラッド・・・喜ぶ・慶ぶ・飲む・悦ぶ・喜んで・嬉しい(ホスピタリティに通ずる)、システムズ・・・組織・機関(構築された仕組み・方法)
 その思いは、「顧客・そこに働く私達・そして私達に関わる社会すべてにおいて喜び・喜ばせる仕組みを構築していく集合体(組織)でありそれを追及していく」と言う理念に結びついております。
 その我社の基本理念に沿い、主とするビジネスホテル業を通じて、省エネルギー・節水・廃棄物の削減等、環境問題に取り組むことで社会に喜びを与えるより強い組織作りを目指し、環境への取り組みを積極的に推進して参ります。

<環境保全への行動指針>

1. 環境に関する法律・条例等遵守致します。
2. 二酸化炭素排出量の削減の削減に向け、省エネルギー活動に努めて参ります。
3. 一般廃棄物及び食品廃棄物の削減に努めて参ります。
4. 照明器具のLEDへの更新を努めて参ります。
5. 節水に取り組み、排水量を削減に努めて参ります。
6. グリーン購入やグリーン調達を推進して参ります。
7. お客様へエコアクション21参加を告知し、エコ活動の協力を推進して参ります。
8. 日本社会に貢献することを目的とし、環境保全活動を推進して参ります。
9. 環境方針を、全従業員に周知させ、環境に関する意識向上に努めて参ります。

制定日：2012年11月1日
 代表取締役 中村登喜夫

□組織の概要

1) 名称及び代表者名

(株)グランドシステムズ
代表取締役 中村 登喜夫
設立：2009年5月8日
運営開始：2009年6月

2) 所在地

本社	大阪シティホテル京橋	大阪府大阪市都島区片町2-11-24(登記上) TEL:06-6353-1111 FAX:06-6352-1510 http://www.ochk.co.jp
経営管理部		2009年6月より運営 大阪府大阪市都島区片町2-6-3-3F TEL:06-6881-7702 FAX:06-6881-7703
ホテルグランドワン南大阪		2011年3月より運営 大阪府大阪市住之江区新北島5-1-50 TEL:06-4702-7830 FAX:06-4702-7833 http://www.gladonehotels-minamiosaka.jp
北九州第一ホテル		2011年6月より運営 福岡県北九州市小倉北区紺屋町11-20 TEL:093-551-7331 FAX:093-551-7333 http://www.gladonehotels-kitakyusyu.jp
ホテルグランドワン京都七条		2012年5月より運営 京都府京都市下京区正面通木屋町東入北側鍵屋町337 TEL:075-354-7200 FAX:075-354-7201 http://gladonehotels-kyotoshichijo.jp/
ホテルグランドワン京都四条大宮		2017年10月より運営 京都府京都市下京区大宮通綾小路下る綾大宮町66 TEL:075-813-1001 FAX:075-813-1002 http://gladonehotels-shijoomiya.jp/ 2018年2月より運営

3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 経営管理部 猪熊由香 TEL:06-6881-7702
担当者 経営管理部 猪熊由香 TEL:06-6881-7702

4) 事業内容

宿泊サービス業
主要製品：ビジネスホテル運営

5) 事業の規模

売上高 8.4 億円(2018年)

	経営管理部	京橋店舗	南大阪店舗	北九州店舗	七条店舗	四条大宮店舗	合計
従業員	3	10	8	8	10	8	47
延床面積(m ²)	76.3	1822	1293	2101	1504	1380	8176

6) 事業年度 3月～2月

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：株式会社グランドシステムズ
対象事業所：経営管理部
大阪シティホテル京橋
ホテルグランドワン南大阪
北九州第一ホテル
ホテルグランドワン京都七条(2017年10月OPEN)
ホテルグランドワン京都四条大宮(2018年2月OPEN)
活動：宿泊サービス業



□事業や製品(商品)の紹介

主な事業の紹介

・ホテル・旅館の経営及びこれらのコンサルティング業
・旅行業法に基づく旅行業(大阪府知事旅行業 第3-2542号)
・損害保険代理店業 再生可能エネルギー発電事業

基本理念

まずお客様にとって、そしてそこに働く私たちにとっても、気持ちの良いホスピタリティを提供し続ける会社でありたい。

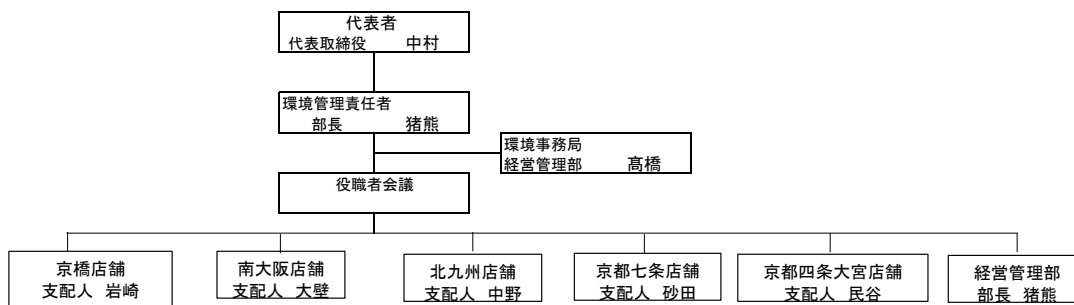
ビジネスホテル業を中心に事業展開しております。

京都七条店舗では外国人観光客に向けて日本文化を発信するイベントを積極的に取り入れており、京橋のホテルでは、京橋子供カレー食堂の場所を提供し、従業員もボランティア活動に参加する等社会貢献活動に取り組んでおります。



□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2019年5月15日



役割・責任・権限	
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムに必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し、指示 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を承認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、役職者会議の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境経営目標・環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
役職者会議	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営計画の審議 環境活動実績の確認・評価
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
内部監査チーム	<ul style="list-style-type: none"> 環境に関する内部監査の計画 環境に関する内部監査の実施・報告
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2016年	2017年	2018年
二酸化炭素総排出量	kg-CO2/kWh	515,451	492,820	704,259
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	31,166	35,697	54,548
産業廃棄物排出量	kg	160	150	8,482
総排水量	m ³	24,763	24,693	39,479

※二酸化炭素排出係数 施設による kg-CO2/kWh 電力会社の調整後の係数
 京橋・南大阪0.418 北九州0.463 京都七条・京都四条大宮0.477
 ※主な環境負荷実績は、昨年実績を含まない京都七条・京都四条大宮店舗の数値を含んでおります。
 2018年度京都2店舗 二酸化炭素排出量204,653kg-CO2・一般廃棄物排出量19,572kg・産業廃棄物排出量8,370kg・総排水量13,777m³

□環境経営目標及びその実績

項目	年度	基準値 (基準年)	2018年		評価	2019年	2020年
			(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	344,152	340,711	340,439	○	326,945	326,945
	基準年度比	2017年	99%	99%		95%	95%
都市ガスによる二酸化炭素削減	kg-CO2	161,966	160,346	152,687	○	160,346	160,346
	基準年度比	2017年	99%	94%		99%	99%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	3,838	3,799	3,556	○	3,799	3,799
	基準年度比	2017年	99%	93%		99%	99%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	509,956	504,856	496,682		491,090	491,090
一般廃棄物の削減	kg	35,697	35,340	34,976	○	35,340	35,340
	基準年度比	2017年	99%	98%		99%	99%
水道水の削減	m ³	24,693	24,446	25,702	×	24,446	24,446
	基準年度比	2017年	99%	104%		99%	99%
グリーン購入の推進 (オフィス用品G購入率)	60% (金額率)	—	60%	74%	○	60%	60%
	エコプラン	2580 2017年	2389 件	2774 116%	○	2800 件	2900 件

※実績・目標は京都2店舗を含まない4店舗(経営管理部・京橋・南大阪・北九州)の結果です。
 ※当社は店内調理をせず、業者より購入したものをそのまま、お客様に提供しており、食品廃棄物は卵の殻とお客様の食べ残し程度の少量です。このため、食品廃棄物抑制の管理ができないので、環境目標設定しておりません。ただし、食品廃棄物のリサイクル率を高めるために炭化製品リサイクル工場に委託して、適正な管理に努めています。

□食料リサイクル率の実績

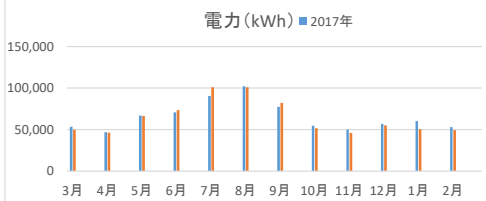
※これまで、朝食を提供していた北九州第一ホテルは、2017年度より食事の提供を中止。
 このため、2018年度の食品廃棄物の排出はありませんでした。なお、今後、他の店舗で食品廃棄物が発生した場合、実績を把握し、食料リサイクル率の向上に努めます

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標:○達成 ×未達成

活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	年間を通して、目標値を達成することが出来た。2017年度に北九州・南大阪の休館期間があり、本年京橋の店舗では1月に休館期間があった為、そういう施設の休館期間による使用量の違いは出るものの、1人当たり1室当たりで比べると昨年と同等・又は若干減少する結果となりました。七条・四条大宮共に、照明はすべてLEDを採用しており、既存の店舗に比べやはり照明器具も省電力のものが多く、1人当たり1室当たりの使用量が抑えられている。
・不要照明の消灯	○	
・使用の少ない時間帯の電化製品の電源OFF	△	
・冷蔵庫の電源OFF	○	
・チェックアウト後の客室エアコン電源OFF	○	
・照明器具のLED化	○	



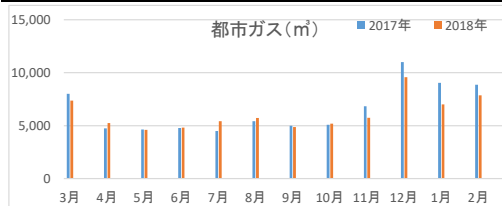
取組紹介欄

次年度の取組内容

- ・店舗で使用している古い電化製品の見直し
- ・不要照明の消灯
- ・冷蔵庫の電源OFF
- ・チェックアウト後の客室エアコンの電源OFF
- ・清掃中やチェックイン前に客室のエアコン温度の確認

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
2017年	53,454	46,801	66,952	70,739	90,522	102,201	77,369	54,723	50,113	56,795	60,404	53,050	783,124
2018年	49,777	46,303	66,436	73,430	100,979	101,078	82,016	51,722	45,951	55,021	50,498	49,384	772,595

都市ガスによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	9月以降各店で1人当たり1室当たりのガス使用量が減少する良い結果となった。南大阪・北九州は特にほとんどの月で昨年を下回る数字を出すことが出来た。四條大宮で、7月に節水のシャワーヘッドを購入し、水道並びにガスにも影響が出た。半年離れてOPENした店舗との浴室の違いで、水道・ガスの比較が目に見える結果となって表れた。今後の新店舗を計画する際も参考にしたい。
・チェックアウト後の客室エアコン電源OFF	○	
・節水用シャワーヘッドの導入	○	



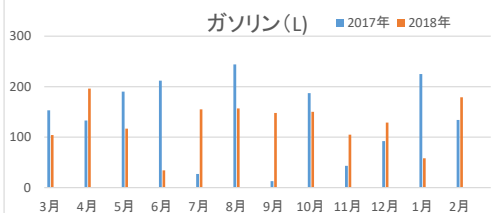
取組紹介欄

次年度の取組内容

- ・チェックアウト後の客室エアコン電源OFF
- ・清掃中やチェックイン前に客室のエアコン温度の確認
- ・シャワーに節水機器の取付(京都七条)

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
2017年	8,012	4,735	4,637	4,770	4,497	5,417	4,997	5,085	6,828	11,010	9,036	8,858	77,881
2018年	7,372	5,250	4,602	4,821	5,414	5,719	4,863	5,185	5,745	9,583	7,000	7,865	73,419

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	京都2店舗OPEN時は、車での移動や物を運ぶと言った所で使用頻度が上がっていたが、本年はOPENして落ち着いたところもあり、使用量が減少している。今後は営業活動が増えたいと思うが、公共の交通機関を併用して上手に利用していくようにしていく。
効率的に営業まわりをする	○	



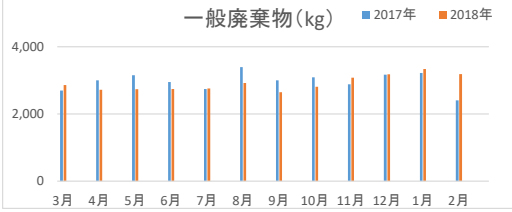
取組紹介欄

次年度の取組内容

- ・効率的に営業まわりをする
- ・公共の交通機関を使って営業する

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
2017年	153	133	190	212	27	244	13	187	43	92	225	134	1,653
2018年	104	196	117	34	155	157	148	150	105	129	58	179	1,532

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	後半になるにつれ、昨年よりゴミの排出量が増加したものの、年間通して昨年より減少することが出来た。四条大宮では、年の後半にかなりゴミの量が増えてきているので注意していきたい。
・印刷物の裏紙をメモ帳として利用	○	
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	
・書類は主にメールで送る	○	



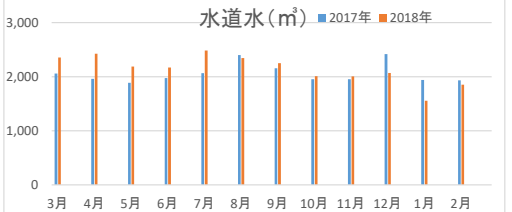
取組紹介欄

次年度の取組内容

- ・印刷物の裏紙はメモ帳として利用
- ・帳票見直しによる印刷物の削減
- ・書類は主にメールする
- ・会議の資料はなるべく書類を出さずにPC上で確認する
- ・両面コピーを利用する

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
2017年	2,697	2,999	3,151	2,947	2,739	3,395	3,001	3,090	2,881	3,171	3,221	2,405	35,697
2018年	2,860	2,718	2,738	2,739	2,756	2,921	2,645	2,811	3,081	3,181	3,339	3,187	34,976

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	×	京橋は10月より劣化していたトイレの節水器具を取り換えた。昨年より1人当たり1室当たりの水の使用量が増加していた京橋も後半にやっと昨年より下回るようになったものの、北九州が今後は後半に昨年より増加したことにより、結果目標達成する事が出来なかった。四条大宮で、7月に節水のシャワーヘッドとトイレの節水機器を購入し、10月に京橋でトイレの節水機器を購入した。四条大宮に関しては、シャワースーツのみの七条よりも結果水道使用量を抑えることが出来ました。
・清掃時の水の使い過ぎに気を付ける	○	
・手洗い時・洗い物時は節水を意識する	○	
・節水用シャワーヘッドの導入	○	



取組紹介欄

次年度の取組内容

- ・清掃時の水の使い過ぎに気を付ける
- ・手洗い時・洗い物時は節水を意識する
- ・シャワーに節水機器の取付(京都七条)

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
2017年	2,058	1,962	1,886	1,976	2,064	2,401	2,155	1,954	1,952	2,416	1,938	1,931	24,693
2018年	2,355	2,423	2,188	2,169	2,484	2,344	2,249	2,009	2,005	2,069	1,556	1,851	25,702

グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	目標を超える14%上回る結果となった。今後も積極的にグリーン購入をしていきたい。
・事務用品グリーン購入比率向上	○	

取組紹介欄

事務用消耗品の購入は、グリーン商品・エコマーク・GPNエコ商品ねっと・FSC・PEFCを推奨し購入を進めております。

次年度の取組内容

- ・事務用品のグリーン購入比率向上

エコブラン	達成状況	取組結果とその評価
0	0	年間を通して、昨年より大きくエコブラン数を伸ばすことが出来た。南大阪の店舗ではエコブランは減少したものの、京橋・北九州の店舗でエコブラン数を伸ばすことが出来た。今後も京都2店舗が加わるによりエコブラン数を増やすことで環境に配慮したホテルとして認識をもってもらえるよう広めていきたい。

取組紹介欄

清掃不要のブラン
連続して宿泊頂くお客様に、清掃不要の場合アメニティのみお渡ししております。
清掃による水・電気・ガスの削減にご協力
頂いております。



次年度の取組内容


- ・エコブラン実地 清掃不要ブラン(アメニティのみ準備)


□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無
 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	収集運搬業、中間処理業、産業廃棄物(廃プラ、廃ガラス、廃油等)
食品リサイクル法	食品廃棄物
容器包装リサイクル法	容器包装
騒音規制法	空気圧縮機、送風機
振動規制法	空気圧縮機
水質汚濁法	煮沸設備、洗浄設備
浄化槽法	浄化槽
下水道法	除害施設
消防法(危険物)	危険物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機・冷凍庫・冷蔵庫

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
 食品リサイクル法の事業者ごとの基準実施率は達成しています。
 なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定: 火災の発生	
■実施日: 2018年4月16日 ■参加者: 大壁/井神/岩井/瀧川	■実施場所: ホテルグランドワン南大阪 ■実施内容: ・通報訓練、消火訓練、避難訓練 手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■評価: 今回消防訓練に参加できなかったスタッフにも非常放送のやり方・誘導方法等伝達する。 地震や台風等の災害等でも訓練したことは応用できることを学んだ。	
■実施状況の様子	
	

緊急事態の想定: 火災の発生	
■実施日: 2018年3月20日 ■参加者: 民谷/磯田/小野/百瀬/大岡/ソ	■実施場所: ホテルグランドワン京都四条大宮 ■実施内容: ・流出事故対応、通報訓練 手順書の変更の必要性 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
■評価: 今回OPENして初めて店舗スタッフと共に火災訓練を行った。 廊下に窓がない店舗の為、非常階段と非難ハッチからの誘導をすることを学んだ。	
■実施状況の様子	
	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2019年4月15日

【前回の指示への取組結果】	
<p><情報></p> <p>◇自社を取り巻く環境問題の変化 (社会的情勢、利害関係者の要求等) ホテルの建設ラッシュによる、リネンコスト・清掃コストの上昇が顕著である。また、住宅地内にもホテルが建設され、旅行者による騒音やゴミ投棄等の問題がある。</p> <p>◇環境目標・活動計画の達成状況 水道水量の削減目標以外は全て達成できた。 達成できなかった水道水量の要因は、ホテル入居テナント飲食施設様の営業時間の延長と水道代金がテナント様負担でない事による削減意識の低さが原因と考える。</p> <p>◇その他 ・利害関係者からの苦情・要請等 ・環境上の問題点等</p>	<p><見直し・指示></p> <p>◇環境方針</p> <p>◇環境目標・活動計画</p> <p>◇その他</p>
<p>【今回の評価結果と今後の経営視点】</p> <p>今回の評価結果として削減目標への実績は、満足しています。今後の評価対象が4事業所から6事業所になったり、朝食サービスを開始していますので食材ロスへの取組も必要となってきますが、すでに省エネへの設備投資や食材ロスへの懸念対策が取れているのでどのような結果がでるのを楽しみにしています。宿泊サービスも異業種の参入もあり多様化してきました、そのことで業界の常識が良い意味で変化していくことも想像しています。手間のロスやコスト削減と環境経営がリンクしていく取り組みも必要と考えています。ホテルスタッフには、人的ソフトの方での環境経営の推進の継続を期待しています。</p>	

□これまでの環境活動の紹介

- 1 水田オーナーズクラブへ加盟**
環境保全の一環として、日本の農業を守り・持続可能な日本社会に貢献することを目的とし、水田オーナーズクラブへ加盟・契約致しております。
自然豊かな鳥取県の山間部にグラッドシステムズ農園を設立し、地元の農家の方と向き合い、一緒にお米を栽培することで高齢化が進み、多くの問題を抱える日本の農業を守ることに貢献したいと考えております。
農業を通じて都市の企業と生産地が持続可能な地球環境保護に賛同し、環境意識を高め、2050年の低炭素社会の実現を目指しております。
水田面積 31.1アール
CO2削減量3,110kg
品種 こしひかり
栽培形態 鳥取県認証 特別栽培 海藻有機肥料
水田場所 鳥取県日野郡
- 2 太陽光発電事業部の立ち上げ**
社会貢献の一環として、再生可能エネルギーを創電致します。消費するだけでなく、再生可能なエネルギーを発電し、地球環境に優しい太陽光発電事業を取り組むことで社会環境を考えて参ります。
太陽光発電事業部6施設(兵庫県三田市・宮崎県宮崎市・奈良県天理市・徳島県阿波市・奈良県生駒市・京都府京丹波町)
- 3 なにわ淀川花火ボランティア・清掃活動**
毎年当社では、淀川花火大会の運営ボランティア活動に参加しております。
花火当日は、誘導や救護のボランティア・花火の翌日は清掃活動ボランティアを行っております。
- 4 御堂筋の清掃活動参加**
青年会議所が主催する御堂筋の清掃活動に参加しております。
- 5 事業活動全体を通じてのSDGsへの貢献**
SDGsの17の目標の内7つの項目に貢献しています。

